

医工連携と産業

JOURNAL OF MEDITECH AND INDUSTRY

投稿規程



● 論文の募集

医療分野とものづくり分野による「共創」の実現に役立ち、医学、工学、産業界の進歩に寄与する創意に富む研究、臨床現場での経験、医療機器および非医療機器の解説や使用経験など医工連携分野に関する論文を幅広く募集いたします。

● 本誌の概要

「医工連携と産業」へご投稿いただいた論文はWeb版として順次公開されます。
本誌（印刷版）は論文の数が規定数に達した時点で発行いたします（不定期発行）。
別刷はWeb版と同時に発行が可能です。
原稿の締切日がございますのでいつでもご投稿いただけます。

● 論文の種別

- ・原著（独創的な臨床、研究の報告等）
- ・ショートコミュニケーション（臨床、研究の短報等）
- ・総説（文献や資料、経験等に基づいた総括的な論評）
- ・解説（医療機器や非医療機器等についての解説等）
- ・報告（臨床現場での経験などの報告等）
- ・オピニオン（医工連携への意見、論説等）

● 査読

- ・投稿論文の採否は、査読審査を経て「医工連携と産業」編集委員会で決定します。
- ・採択の有無にかかわらず原稿の返却はいたしません。
- ・査読審査結果により修正をお願いする場合がございます。
- ・査読期間は概ね4週間～6週間程度となります。論文の内容により変動いたします。
- ・論文1ページ目脚注に「受付日」と「受理日」を記載いたします。

● 投稿要項

- ・投稿の締切日はございませんので論文は常時受け付けております。
- ・論文データはWord・Excel・PowerPoint等でご用意ください。
- ・論文の執筆は指定のファイル（Word）を使用してください。
- ・投稿の際にチェックリストをご提出ください。
- ・原稿枚数の制限はございません。
- ・図、表、写真の数に制限はございません。
- ・論文データのバックアップはお手元に必ず保管してください。
- ・ご投稿いただいた論文データおよび紙原稿は返却いたしません。
- ・データ容量が大きい場合は各種ファイル転送サービスをご利用いただくか記録メディアに保存し宅配便、郵便等でお送りください。なお記録メディアは返却いたしません。
- ・他の著作物からの転載については、発行元の出版社および原著者の許諾を予め得てください。
- ・掲載証明書（予定）が必要な場合はお申し付けください。
- ・国内外を問わず、他誌で掲載もしくは掲載予定の論文のご投稿はご遠慮ください。
- ・Web公開も含め未発表論文のみご投稿いただけます。
- ・論文中に商品名の記載はできませんが「メーカー名」「一般名」「型式名」は記載可とします。

● COIポリシー

医工連携と産業のCOIポリシーは日本医学会のCOIに見解に基づきます。

医学系研究を実施する研究機関および研究者は、企業・営利を目的とする法人・団体から当該研究者に提供される経済的な利益（金銭など）やその他の関連する利益（地位や利権など）に関するCOI情報を適切に開示することが第一歩である。研究機関および研究者のCOI状態は、時に患者の人権、生命、安全に関わるとともに、基礎研究や医療の現場で治療法が考案され、その現場の研究者が産学連携による基礎的医学研究および臨床試験や治験などの臨床研究を実施し、かつ、研究者自らが考案した治療法を商業化するベンチャー企業の事業に関わることが多いという特性からも不可避免的に発生する。しかし、経済的なCOI状態が研究機関自体や研究者個人に生じること自体に問題があるわけではなく、研究機関や医学系学会の長及び研究者がそれらを適切に管理し、第三者からバイアスが掛けられていると見られかねない状況を修正し、研究者及び研究機関に対する根拠のない誤解を避けるための仕組みを構築し、透明性を担保しつつ産学連携を推進していくことが重要な点である。

日本医学会COI管理ガイドラインより引用。

● 生命倫理規程

投稿論文は、基礎、非臨床および臨床研究のいずれにおいても生命倫理に十分な配慮がなされたものでなくてはなりません。以下のような生命倫理規程に反する投稿原稿である場合には、編集委員会の判断の基、査読なしに原稿を返却する場合がありますのでご注意ください。なお、自身の研究にどのような規程が適用されるのか不明な場合は、自身が所属される組織、機関の研究・倫理審査委員会等へ相談し判断してください。

1. 医学的側面に関して

研究の対象にヒトが含まれる場合、ヘルシンキ宣言（「ヒトを対象とする医学研究の倫理諸原則」）や国際医科学団体協議会（CIOMS）の「人を対象とする生物医学研究の国際倫理指針」に沿った倫理的配慮が広く求められます。具体的には、正確な情報を与えられた上での実験への参加の同意（インフォームドコンセント）や研究参加者の利益尊重、プライバシーの保護、危険の回避などの要件を満たしていることが研究を行う上での前提となり、遺伝子解析など、人間や生命の尊厳にかかわる研究についても様々な倫理規程や法令に従っている必要があります。

2. 治験登録に関して

医学ジャーナルの多くは医学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）による臨床試験登録に関する声明を受け、臨床試験・治験の登録していない研究については投稿を受け付けないとしています。日本国内の3つの臨床試験登録機関の協力体制JPRNも、WHOの定めた基準を満たす機関として登録されており厚生労働省のサイトでも、各登録機関の概要を含めた情報が公開されています。

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/inform.html>)

3. 動物実験に関して

動物が対象となりうる場合は、動物実験に替わる実験を行う（Replacement）、実験動物の数を減らす（Reduction）、実験方法を改善し動物の苦痛を軽減する（Refinement）、という動物実験の3R原則が2005年改正の動物愛護管理法にも盛り込まれており、世界的にも飼育環境から現場での実験手法まで、動物が人道的に扱われる事が求められています。具体的には、動物実験は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省）」もしくは「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」の規程を遵守し、所属機関の生命倫理委員会又は動物実験委員会等の承認を得た上で実施した旨を明記してください。

4. 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う研究や症例の報告では、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および所属機関等のヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規程を遵守し、所属機関の倫理審査委員会等の承認を得た上で実施した旨を明記してください。

5. 遺伝子治療臨床研究に関しては、「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」の規程を遵守した旨を明記してください。

6. その他、国が告示した倫理指針に該当する研究は、各指針にそれぞれ合致している旨を明記してください。厚生労働省による医学研究の以下の倫理規程を参考にしてください。

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html#4>)

● 原稿付記事項

投稿論文には必ず下記項目を記載してください。

1. 論文の種類
2. 論文タイトル（日本語および英語）
3. 著者名（日本語および英語）6名まで。
4. 論文要旨（日本語および英語）
*要旨の英語への翻訳が必要な場合には編集部へご相談ください
5. 所属（日本語および英語）※所属は省略せず正式名称で記載してください
6. 論文キーワード（日本語および英語）3～5ワード
7. 著者連絡先

● 図、表、写真

- ・図表はExcel・PowerPoint・PDFなどをご用意ください。
- ・画像でのご投稿の場合には細部が明瞭に確認できるデータをご用意ください。
- ・写真の掲載についてはモノクロかカラーの指示を記して、印刷可能な350dpi以上の解像度のものをご用意ください。
- ・図、表、写真には必ず番号とタイトルを記載し番号と本文とリンクしてください。
- ・図にはそれぞれ説明（キャプション）を記載してください。

● 論文表記

- ・漢字の閉じ開き、送りがななどの統一につきまして編集部で修正する場合がございます。
- ・論文中にしばしば繰り返される用語に略語を用いる場合は、初出の際に正式の語を用いて（以下、○○○）と記載してください。ただし、慣用されている略語については略語を用いても差し支えございません。
- ・単位はSI単位系で記してください。
- ・欧文は大文字と小文字の区別、イタリック体、上付き、下付きのご指示を明確に記載してください。

● 参考文献

- ・参考文献は本文の該当箇所の右肩に1) 2) のように表記してください。
- ・参考文献一覧は本文末尾に引用順に記載し表記してください。
- ・著者名は3名まで記し、それ以上は「他」または「et al」と表記してください。
- ・文献の記載方法は下記に準じてください。
【雑誌】 著者名, 論文タイトル, 雑誌名, 巻数, 始頁-終頁, 発行年.
【書籍】 著者名, 論文タイトル, 書籍編集・監修者名, 書籍名, 始頁-終頁, 発行所, 発行都市, 発行年.

● 校正

- ・査読終了後、医工連携と産業のフォーマットで校正用原稿（PDF）を作成します。
- ・図、表は新たに作製します。
- ・著者校正は原則2回行います。すべてPDFファイルでの校正となります。
 1. 初校用PDFは査読終了から10日前後でお送りします。
 2. 初校用PDFがお手元に届いてから10日前後で校正原稿をお戻しください。
 3. 再校用PDFは初校をお戻しいただいてから3日前後でお送りします。
 4. 再校用PDFがお手元に届いてから5日前後で校正原稿をお戻しください。
 5. 校正は終了となります。
- ※お急ぎの場合は株式会社自然科学社編集部にご相談ください。

● 本誌・別刷

- ・印刷版発行の際には掲載誌3冊を謹呈いたします。
- ・別刷をご希望の場合は50部単位でいつでもご注文いただけます。

● 著作権について

本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は一般社団法人日本医工ものづくりコモンズが保有します。

本誌に掲載された著作物を二次利用される場合には必ず申請書をご提出ください。

申請は株式会社自然科学社編集部までお願いいたします。

● 論文送付先

株式会社自然科学社「医工連携と産業」編集部
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-13 飯田橋 i-MARK ANNEX 5F
TEL：03-3234-4121（受付時間：平日9時～17時）
E-mail：iko@shizenkagakusha.co.jp